

No5

下野市立石橋中学校



校長室だより

スローガン ～生徒も先生も、自ら輝く学校～

目指す学校像

『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成

キーワード「自立・貢献・創造」

令和3年7月12(月)

発行者 田熊利光

石橋中ホームページQRコード→



全校生徒が輝いた運動会

6月26日(土)石橋中学校大運動会が、天候にも恵まれ開催することができました。3年生は見事なリーダーシップを発揮して、最上級生としてのあるべき姿を1、2年生に見せてくれました。1、2年生もそんな3年生に感化され、メンバーシップを発揮して、自分たちにできることを全力でやり遂げることができました。競技中には、ライバルチームを一生懸命応援する姿が見られ、石中生全員が心一つにして素晴らしい運動会を創り上げることができました。

どの競技を見ても、予行と比較すると格段にレベルアップしていて、どの団も努力の成果を遺憾なく発揮していました。特にマスゲームの完成度は、どの団も素晴らしく、点数を付けるのに苦労しました。予行からの伸びはどの団も目を見張るものがありました。

解散式では、応援団の生徒たちが満足の笑顔で、あるいは感動の涙を流しながら、チームメイトに話をする姿が見られました。

学年関係なく全力で頑張った達成感・感動を味わい、仲間との絆も深まった大成功の運動会でした。どの団も、「勝ち・負けの向こう側」にある「目に見えない宝物」を手に入れたと思います。そんな素晴らしい運動会を創造した全校生徒の皆さんに心から拍手を送りたいと思います。保護者の皆様も、早朝から応援いただきましてありがとうございました。

「ネット時代の歩き方講習会」→賢い情報消費者になろう！

7月7日(水)5時間目に、NPO法人青少年メディア研究会理事長、合同会社ロジカルキット代表の下田太一先生を講師にお招きして、「ネット時代の歩き方講習会」を実施しました。

概要は以下の通りです。

スマホは、世の中にあるモノを自分に近づける大変便利な道具。自分が社会に出て様々な世界を見て、世の中のことが分かってくれば、インターネットとは自分にとってどんなものか分かってくる。「自分の軸」ができれば、「目的意識」を持って使えるようになる。

しかし、中学生の皆さんは、その体験が少ないので、自分が目的を持って使いこなすのではなく、知らないうちに様々なリスクにさらされてしまう危険性があることを理解して欲しい。そのリスクは大きく四つ。①辞められなくなる②いじめ・ケンカの原因になること(スマホがなければ知らなくて済む情報も入ってくる)③頼り過ぎてしまうこと④悪いことが起きること(良い人の振りをして近づく人間とも簡単に会ってしまう)

便利なため、自分で何も考えなくなる。自分で様々な工夫をしなくなる。1日6時間以上スマホに触れている依存症の中学生もいる。そうすると、今やらなければならないことの積み上げがないまま大人になる人が増えてしまうことが心配。

インターネットゲームの世界も同じ。とにかくやめられない。なぜか？

- ①自分の思い通りになるから面白い。
- ②誰でも上達する。
- ③普段できないことができる。
- ④怒られたり、けんかになったりもしない。

ゲームやスマホに依存していると何が起こるのか？

- ・思い通りにならないことが全て嫌になってくる。勉強も難しいと嫌になる。忍耐力がなくなるということ。
- ・先が見えないことや、予測できないことが不安になる。

しかし、世の中に出たら、自分の思い通りにならないことの方が多い。我慢することも必要。これからの社会は予測困難な社会で、仲間と共に乗り越えなければならないことが多い。自ら何かを創造することに挑戦して生きていく気概も大切。

今日話したような危険性を十分に理解した上で、情報機器を自分の目的のために上手に使いこなせる「賢い情報消費者」を目指して欲しい。

